

令和5年度 第2回 岐阜県教育委員会教員育成協議会 議事概要

1 開催日時・場所

令和5年7月27日（木）15:00～16:35
岐阜県総合教育センター 第1棟4階 情報管理室

2 協議事項 公立の小学校等の校長及び教員の資質の向上に関する「教員の研修履歴の記録の範囲、内容及び指導助言等の仕組み全般」について

【主な意見】

研修履歴の記録の範囲について

- 任命権者が必要と認める研修の中に、教師が自主的に参加した研修等も加え、任意で記入できるようにするとよい。
- 任意で記入する際には、手間がかからないようなものとし、履歴に書き込む手間については、様々な年代の先生方に負担感も含め事前に聞いてみるとよい。

研修履歴の記録の内容について

- 教師が自主的に参加した研修等については、たとえ任意であっても、受講者の書き込む負担が大きすぎると、受講者が研修を避けることになるかもしれない。そのため、記録の内容については、できるだけ簡素なものにして、足りない部分は管理職と教員の対話で補うことが必要である。
- 研修内容、研修を通して学んだこと、指標との関係づけを履歴の内容に加えるとよい。
- 教員ごとのこだわりなどが残る記録になるとよい。一人一人に色がでてくる。生徒指導で活躍するか、学習指導が強みか、特別活動が得意か等、教員が自分の強みに意外と気付いていないかもしれない。それを意識して勤務することが重要である。
- 受講した研修名だけが全て羅列されると見にくいので、どのキャリアステージのどの資質の研修を受講したかが分かるような履歴にするとよい。
- 受講した研修が、どの資質なのか、どのキャリアステージのものなのか分かりやすくするとよい。受講者がどの分野をいくつ受講しているか等を把握しやすくなるのではないか。
- 「資質・能力」の中でも、主に生徒指導の研修なのか、子ども理解についてなのか、キャリア教育についてなのか等をアイコン等でつなげられるとよいのではないか。それ以外にも県が重点として推進している「いのち」「人権」「いじめ」等に関する講座の枠については、別枠で記録することも考えられるが、一覧表が複雑になりすぎないように配慮する必要がある。
- 「資質・能力」について、その中の段階的なことも載せると、研修も自然と細分化されていく。

資質の向上に関する指導助言等の仕組み全般について

- 管理職との面談時に膨大なものがあるのはよくない。細かいものを多く引っぱってくるのは現実的ではなく、一つ一つの詳細を確認する必要がある際は、アイコン等をクリックするという形がよいのではないか。
- 初任者研修のような基本研修は終了しているかどうか分かるようにするとよい。産育休等で受講できていない基本研修も分かるように。
- 現在は、本人と管理職しか履歴を見られないようだが、同僚と学び合うという面から、同じ学校の他の教員の履歴を見ることができるようになるのもよいのではないか。
- 大学では、自分が行きたい企業に就職した人がどのような学びをしたかが分かるようにしているという取組もある。お互いの研修内容を一部でも分かり合えるようにするというアイデアも面白いのではないか。
- PDFを活用して受講者自身の書いたメモなども残すことができると、受講者の負担軽減につながるのではないか。
- 研修履歴については、その先生が自分で納得できるポートフォリオになるとよい。
- 履歴を細かく残すとデータ量が増え、システムが円滑に稼働しない恐れがある。システムについては、皆が困ることなく、長く使えるようにしてもらいたい。
- システムについては、是非高機能なものにして、教員がストレスなく利用できる使い勝手がよいものとするのが重要である。
- 受講者がやらされていると思うようなものではなく、主体的に活用したくなるようなシステムにってもらいたい。